

みんなとともに笑顔いっぱい — 「101」 新たなるステージへ —



みんなとともに



「新型コロナウイルス感染症」は、もう「対岸の火事」ではない。すぐそこにまでやってきている。本校関係者で感染者が出ていないのは、たまたまに過ぎない。…という「危機感」を皆で共有したいと思います。「命」が脅かされているのは事実です。この危機感による「細心の注意」と、対応策に裏打ちされた「大きな確信」をもって、この時期を乗り越えていきたいと考えています。



「学校再開後」の本校教育活動について

感染症への「感染防止策」を確実にしながら、本校の「育てたい子どもの姿」に向かって、本来すべき教育活動を“愚直に”推進していきます。

本来すべき教育活動

【本校の目指す子どもの姿】

〈教育目標〉～みんなとともに 笑顔いっぱい～
「自分をみがき、成長し続ける子ども」の育成

そのために、新学習指導要領（今年度全面実施）の趣旨を「キーワード」化して実践を行う。

【新学習指導要領の趣旨を生かした「キーワード」】
「まなびあい」 基礎的・基本的内容を習得し、自分のものとする力
「みとめあい」 自らの考えをもち、仲間とともに考え分かち合う力
「たかめあい」 夢や志をもち、よりよい社会を変える力

〈愚直な実践の「イメージ」〉

「知」で「徳」で「体」で「キーワード」を意識した実践を行う。

	自分をみがき、成長し続ける子ども		
	「頭」をみがく	「心」をみがく	「体」をみがく
【知識・技能】 学び合う子氏	「まなびあい」の実践		
【思考力等】 認め合う子氏	「みとめあい」の実践		
【学びに向かう力】 高め合う子氏	「たかめあい」の実践		

【今年度の工夫】

- 「日課表（午前5校時）」のさらなる改善 … 午前8時登校（朝の時間・昼休みの時間の確保）
- 「少人数指導（1学級2担任）」の選択 … 授業形態の工夫（複数の教師・分科担任による授業）
- 「通信票」の2期制への移行 … 充実した指導ときめ細やかな指導の実現

◇「新型コロナウイルス感染症」感染防止への対策

【家庭での対策】

- 「検温」と「健康観察記録表」の提出
- 発熱等風邪症状での登校自粛

【学校での対策】

- 「3つの密」防止策の実施 ・座席を離す ・1時間に1回の換気 ・マスク着用（ハンカチの使用）
- 児童への指導 ・咳エチケット、手洗いの指導 ・給食前の手洗い、飲食時の不要な会話等の禁止
- 消毒の実施 ・給食前の消毒 ・下校後の消毒

【校長のつぶやき】 その29 「もう戻れない」

今回の「臨時休校」は、現在の「学校教育の課題」を浮き彫りにした。

一番感じるのは、「ICT（情報通信技術）環境の遅れ」である。本校では、家庭との連絡体制を「メール」で構築しているが、子どもたちと直接やり取りする手段がない。福島市では、今年度からの3年間で、一人一台の「タブレット端末（ipad）」が整備されるが、この動きをより加速させる必要がある。

そして、強く感じるのは、「子どもの“学びへの主体性の違い”が、より大きな“学力差”となって現れるおそれ」である。教師は「プロ」である。プロである教師は「指導技術」を持っている。しかし、家庭にいる子どもには、それは届かない。お子さんは、「自分で自分を律して学ぶこと」ができていだろうか。

学校が再開した後は「自分をみがき、成長し続ける子ども」の育成に向け、愚直に実践を積み重ねる考えである。その指導が効果を得たとき「子どもが変わった」と保護者の方にも実感してもらえることだろう。

今、教育は、「新たなステージ」に入った。もう元には戻れない。「その先へ」進むのみである。

